

みずほCustomer Desk Report 2022/03/07号(As of 2022/03/04)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	115.42 AUD/USD
TKY 9:00AM	115.49	1.1065	127.78	1.3349	0.7338
SYD-NY High	115.56	1.1068	127.79	1.3355	0.7380
SYD-NY Low	114.65	1.0886	125.09	1.3202	0.7301
NY 5:00 PM	114.66	1.0933	125.48	1.3227	0.7372

NY DOW	33,614.80	▲ 179.86	日本2年債	-0.0400	0.00bp
NASDAQ	13,313.44	▲ 224.50	日本10年債	0.1500	▲2.00bp
S&P	4,328.87	▲ 34.62	米国2年債	1.4879	▲3.71bp
日経平均	25,985.47	▲ 591.80	米国5年債	1.6462	▲8.27bp
TOPIX	1,844.94	▲ 36.86	米国10年債	1.7367	▲10.30bp
シカゴ日経先物	25,870.00	▲ 500.00	独10年債	-0.1035	▲12.15bp
ロンドンFT	6,987.14	▲ 251.71	英10年債	1.2085	▲8.75bp
DAX	13,094.54	▲ 603.86	豪10年債	2.1340	▲2.20bp
ハンセン指数	21,905.29	▲ 562.05	USDJPY 1M Vol	8.15	0.85%
上海総合	3,447.65	▲ 33.46	USDJPY 3M Vol	7.85	0.73%
NY金	1,966.60	30.70	USDJPY 6M Vol	7.84	0.51%
WTI	115.68	8.01	USDJPY 1M 25RR	-1.70	Yen Call Over
CRB指数	299.955	10.75	EURJPY 3M Vol	11.55	1.35%
ドルインデックス	98.65	0.86	EURJPY 6M Vol	10.85	1.14%

東京	東京時間のドル円は115.49レベルでオープンし、ロシアがウクライナの前発を爆撃したとのヘッドラインを受けて一時115.25まで下落する。その後は原発の重要施設に影響は出ていないと分かり、過度な警戒感が和らぎ、ドル円も買い戻される。115円台半ばでのみ含み推移となり、115.51レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は115.51レベルでオープンし、午後に3月の米雇用統計の発表を控えて小動き。約30銭のレンジで動意乏しく推移し、115.42レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	115.42レベルでNYオープン。朝方は注目の米雇用統計で非農業部門雇用者数変化が予想を上回る一方、平均時給が予想を下回り、ドル売りになると思われたが有事のドル買いも続き、結果発表で上下した後は発表前のレベルでの推移。その後株式市場が大幅下落でスタートする中、円買いが持ち込まれ、ユーロドルもショートカバーが強まったことからドル円は114.65まで下落。午後は週末を控え114.80付近での推移が続き、114.66レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場でのリスク回避の動きにサポートと見られていた1.10を抜けると下落スピードが加速し1.0934まで下落し、1.0938レベルでNYオープン。朝方は米雇用統計の結果を受け上下するものの、ユーロ円の下落に1.0886まで下落する。しかしその後、ドルの買われ過ぎ感からユーロドルは下げ渋る。午後ユーロドルはじり高の推移が続き、1.0941まで戻し1.0933レベルでクロスした。(NY井上)

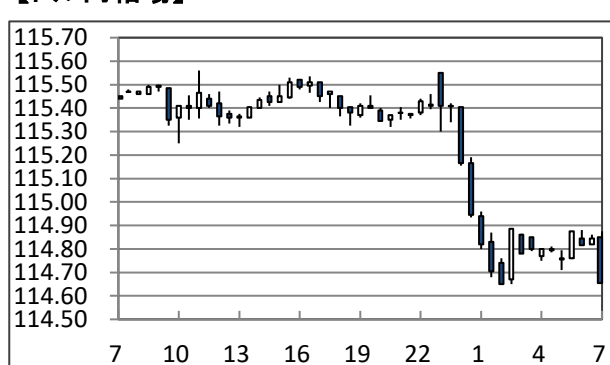
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月4日	19:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	1月 0.2%/7.8%	1.5%/9.2%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	2月 678k	423k
	22:30	米 失業率	2月 3.8%	3.9%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	2月 0.0%/5.1%	0.5%/5.8%

【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月7日	16:00	独 小売売上高(前月比)	1月 1.9%	-4.6%

【ドル円相場】



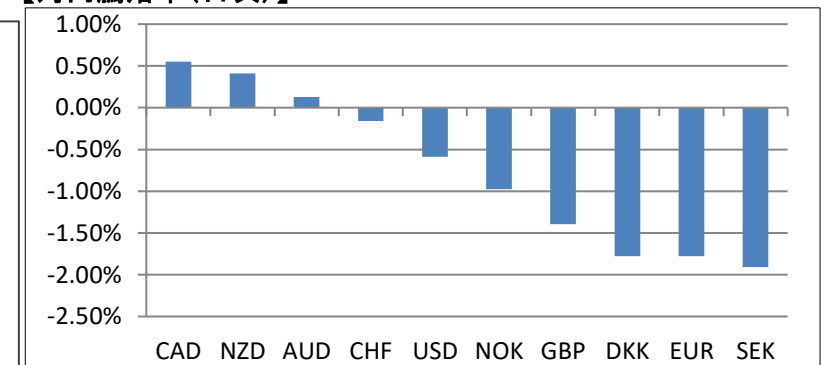
【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.00-115.00	1.0800-1.1000	124.00-126.00

【マーケット・インプレッション】

金曜日の海外時間には、ドル円、ユーロドル共に下落。ユーロ円は一時125円付近まで値を下げた。背景は、ウクライナ情勢。この日、ロシア軍がウクライナの原子力発電施設を制圧したことで、戦争の深刻化が懸念された。一方で、この日発表された米2月・雇用統計は、先月の改定値も大幅上昇するなど、総じて好ましい結果となったが、戦争悪化への懸念は大きく、相場への影響は限定的となった。本日のドル円は引き続き上値重い推移を予想。週末、ロシアとウクライナは一部都市での人道回路設置のための一時停戦に合意した。しかし、一部の都市で戦闘が続いており、市民の避難が延期されているとの報道。停戦には、ウクライナの非武装化を含む全ての条件が満たされることが必要とのロシア側の意向が伝わっており、戦争による相場の混乱は継続しそうだ。

【対円騰落率(日次)】



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:尾身・鈴木